

ボランティア伝言板



3月~4月

発行 佐伯区社会福祉協議会ボランティアセンター
〒731-5135 広島市佐伯区海老園1-4-5
広島市佐伯区役所別館 佐伯区地域福祉センター
TEL 921-3360 FAX 924-2349
平成25年3月発行

佐伯区ボランティアセンターが開設して1年が経ちました!

お気軽にお立ち寄りください



平成24年1月30日に「佐伯区ボランティアセンター」が開設して約1年が経ちました。佐伯区ボランティアセンターは、ボランティアコーディネーターが常駐し、主にボランティア希望・要望の相談や調整、ボランティア入門講座やステップアップ研修会などの開催、ボランティア情報紙の発行やボランティア活動保険の受付等を行っています。同センターの利用もボランティア同士のミーティング、録音作業室や点字印刷室、オレンジリボンサロン開催など少しずつ増え“ボランティア活動の拠点”として定着しつつあるように感じています。マンツーマンのボランティアによる障がい者のパソコンサロンも始めました。その他に福祉関連機材の貸し出しや図書貸し出しもしています。ボランティアに関心がある方は、お気軽にお立ち寄りください。

オレンジリボンサロン

ご参加ください

幼児虐待防止の啓発の一環として、佐伯区ボランティアセンターで「オレンジリボンサロン」を毎月第2・4の火曜日13:30~開催しています。



佐伯区ボランティアセンター

障がい者パソコンサロン

楽しく学んでいます



とび出せボラセン インタビュー!

今回は、五日市在住の広島修道大学4年生宮尾佳孝^{みやおよしただか}さんにお話を伺いました。

Q : これまでにどんな活動をしてこられましたか?

宮尾 : おもに、知的に障害のある子どもたちとのふれあい活動が多いです。その他、障害者スポーツ大会の手伝いや被災地支援(福島での土日お茶会サロン参加)、オレンジリボンサロン、「さえき福祉♥健康フェスタ2012」の行事支援など・・・です。



宮尾佳孝さん

Q : 印象に残ったことは何ですか?

宮尾 : 「ぶちボラ体験スクール2012」(社協が毎年夏休みに開催しているヤングボランティアスクール)での“知的障がい疑似体験”は目からうろこの体験でした。知的障がいを漠然と理解していたつもりでしたが、お母さんたちの思いも聞かせてもらい、とても勉強になりました。

Q : 活動を通して自分自身の変化はありましたか?

宮尾 : 「障がい児」とのふれあい活動と聞いたとき、正直緊張しました。僕にできるかな・・・とも思いましたが、現場に行ったら100パーセント受け入れてもらい、楽しく活動できたことを思い出します。自分から話しかけたりするのが苦手でしたが、今はあまり苦痛ではなくなり、年配の方でも子どもでも自然におしゃべりができるようになりました。

<ボランティアコーディネーターから一言>

おっとりして落ち着きを感じる宮尾くんは、最初会った時の印象とはずいぶん変わってきましたね。何かしら自信がついてきたような頼もしさを感じます。家族から『宮尾くん自身の世界が広がったみたい』と言われたとか。4月から「新社会人」として他市へ赴かれますが、今後の活躍を期待しています。



平成25年度 ボランティア活動保険受付中!



ボランティア活動中のさまざまな事故によるけがや損害賠償責任を補償します。

- ① 損害事故・・・ボランティアがボランティア活動中の事故によりケガをした場合
- ② 賠償事故・・・ボランティアが、ボランティア活動中に他人をケガさせたり、他人の物を壊したことによって損害賠償責任が生じた場合

♣補償期間・・・平成25年4月1日～平成26年3月31日

♣年間保険料・・・基本タイプ **A**300円(20円アップ) / **B**450円(30円アップ)

♣申込み・お問い合わせ・・・佐伯区社会福祉協議会 ☎ 082-921-3113

FAX 082-924-2349

「白い三輪車の会」 新しいステージへ発信！

平成 25 年 2 月 1 日（金）から全 4 回で「点訳ボランティア入門講座」を開催しました。

第 1 回の講座は、佐伯区視覚障がい者の集い「白い三輪車の会」の皆さんに、視覚障がいとは・・・、点字との関わり、アイマスク体験、生活の中で感じていること・・・などを話していただきました。「白い三輪車の会」は昨年から、『視覚障がい者の視覚障がい者による視覚障がい者のための点字教室』を開催中で、同教室のサポートを「点字グループつぼみ」がしています。

アイマスク体験も、「白い三輪車の会」の皆さんから白杖をお借りして、佐伯区地域福祉センター内に配置してある点字ブロックをみんなで歩いてみました。会長の保森さんは、『街中で、視覚障がい者が方向など見失っていたら気軽に声をかけてもらおうと嬉しい』と話されました。

受講者からは、『視覚障がいについて、とても楽しく学べて分かりやすかった』『視覚障がい者が困っておられたら、気負わず声をかけたい』などの感想が聞かれました。

「白い三輪車の会」では、このようなゲストティーチャーをお受けしていますので、ご希望の方は佐伯区社会福祉協議会へご相談ください。



「アイマスク体験」



点字体験もマンツーマンで



ボランティア研修会 報告

紙芝居「五日市の伝説 あまんじゃく」 好演と「終活」エンディングノートDVD観賞

平成 25 年 2 月 5 日（火）、「ボランティア研修会」を開催し、参加者は 74 名でした。

まず、五日市朗読グループによる「あまんじゃく」の紙芝居上演。「さえき福祉♡健康フェスタ 2012」で初披露しましたが、ボランティアの皆さんから『それぞれの持ち場で活動していたので紙芝居を見ていない』と要望があり、このたび上演の運びとなりました。

DVDの内容は、娘が父の残したエンディングノートを描いた感動のエンターテイメント・ドキュメンタリーで、人間味あふれる“父”とその姿を見守る家族が映し出されていました。

参加者感想から～

『わが人生をふりかえってみる良い機会になった』『“今”を“これから”をどう生きていくか考えることが大事だと思った』『最後まで自分を失わず人生を生き抜かれたことに感動。自分もこんな風に人生の幕を閉じられたらと思った』などポジティブな感想が多かったと思います。

★地区社会福祉協議会やボランティアグループの研修会での同DVD貸し出しについては、事務局へご相談ください。

◇ボランティア募集◇



「ミニテニスパートナー」

知的に障がいのある子どもたちとふれ合いながら、一緒に体を動かしてみませんか！

♥日にち：平成25年3月17日(日)
4月13日(土)・5月11日(土)

♥じかん：14:00～15:30

♥ところ：佐伯区スポーツセンター
(佐伯区楽々園6-1-27)

♥主催：広島市手をつなぐ育成会
佐伯区支部学親会



「行事支援スタッフ」

きょうされん広島県支部に加盟している作業所の「はばたこう交流会」を開催します。県内の作業所の仲間たちが多く集まり、ゲームや踊りなどで楽しく交流します。

♥日にち：平成25年3月22日(金)

♥じかん：9:00～16:00

♥ところ：グリーンアリーナ（広島県立総合体育館）

♥人数：30名（昼食を準備しています）

♥内容：ゲーム進行、受付、駐車場係など

♥主催：きょうされん広島県支部虹の会

※きょうされん＝障がいのある人たちのニーズをもとに共同作業所によって結成され、現在では1800か所を超す会員となり、小規模作業所をはじめ授産施設やグループホーム、生活施設、生活支援センターなど大きく広がっています。

♣お問合せ・申し込み 佐伯区ボランティアセンター ☎(082)921-3360



えりごのみ情報

「りぼんサロン」
好評 開催中！
3/12, 3/26開催

「衣類の整理」どうしていますか！

3月～4月は、卒業・入学・転勤の季節ですね。
衣類のリサイクルをしませんか！



- ① 西部リサイクルプラザ（持ち込み）
☎(082)501-2600
- ② ひろしま浄心院ボランティアH.J.V事務局
☎(082)273-2002
♣送付先：西区己斐上5-990(ダンボール1箱900円寄付)
- ③ 赤道ギニアを支援する会
☎(082)252-0134 山藤まで

※事前に、電話で問い合わせてください。

「不登校を考える会・広島親の会」

「不登校を考える会・広島」では、毎月概ね第2の土曜日に、不登校やひきこもりがちな子ども（概ね15歳以上）をもつ『親の会』を開催しています。『親の会』では、「摂食障がい」の方の情報交換も同時に行っています。ひとりで悩まないで参加してみませんか！



3月開催日：3月9日(土)
10:00～12:00
場所：佐伯区地域福祉センター